

# はっぴい

第 76 号

編集・発行  
白山高等学校PTA

印刷  
伊藤印刷株式会社

2023. 7



## ご挨拶

PTA会長 青山桂子

令和五年度会長を務めさせていただくことになりました青山桂子と申します。

先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。

先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。

令和五年度会長を務めさせていただくことになりました青山桂子と申します。

先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。

先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。先日は総会での承認ありがとうございます。

緒に楽しめる行事がたくさんできたら良いなと思っています。

最後にりましたが、私の思うPTAとは、学校のPTAではありませんが、学校生活、行事を子どもたちのためにサポートしていく、子どもたちのために動くものだと考えています。あくまでも、子どもが主役のPTAだと思っています。

そのため、保護者の皆様、地域のみなさまのご協力があつてこそ成り立つものだと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。長くなりましたが、読んでくださりありがとうございます。



## ご挨拶

校長 奥出博之

日頃よりPTA活動はもとより、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。白山高校でお世話になり、二年目となりました校長の奥出博之です。

今年度もよろしくお願いいたします。五月八日に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが五類に移行され、ようやく平常の学校運営を取り戻しつつあります。教室の換

気や手洗いの励行など、基本的な感染対策は引き続き行うものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることのない授業、部活動、学校行事等が行えることの喜びを実感しているところです。

さて、過日広島で先進国首脳会議(G7)が開催されたことは記憶に新しいところですが、この会議に先立ち、各国の教育大臣による会合が金沢で催され、その会議に同席されていた文部科学省の担当者から、そのときの様子などを講義として聞く機会が



ありました。今後、「ウェルビーイング」の向上を、各国の教育振興の基本方針とすることが、教育大臣の一致した見解であったとのことでした。「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを指す言葉で、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など、将来にわたる持続的な幸福を含む概念だそう。本校のスクール・ミッション（目指す学校像）は、「地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する取組みを行う学校」とし、地域から信頼される学校づくりに取り組んでいます。これまで保護者のみならず、地域の方々の協力のもと、学校を運営してきました。このことはすべての生徒が、自信をもって自らの未来を、自らの手で切り拓く力をも身につけるためであり、「子供たちの誰もが夢と志に向かって、頑張ることができる豊かな心を身につけていく学校である」との思いに基づいています。この講義を聞いて、このような学校運営を、一層継続させていきたいと感じました。今後ともご理解とご協力をお願いします。

次に、学校の近況などです。

①学習活動について  
 新入生は入学後、精一杯頑張っているようです。中学校での学習とは

異なる部分が多くあり、戸惑っている様子も伺えました。今後、徐々に学習内容も高度になるなど、変化していきますが、様々な困難を自ら一つひとつ乗り越え、心身ともに大きな成長を望みます。より効果的な成長を促すために新入生に限らず、特に保護者の皆様にお願ひしたいことがあります。毎日の「予習」や「復習」の定着もさることながら、レポートや課題の提出物を期限内に提出できているか、ご確認していただきたいことです。学校生活のみならず、社会に出てからも必要となる「時間」や「期限」を守ることは、何よりもおろそかにできない基本的な習慣と思ひ書きました。是非、ご協力をお願いいたします。

②各種行事について  
 四月には仲間づくりの遠足、六月には体育祭と「家城地区クリーン作戦」を実施しました。体育祭では、多くの保護者の皆様に参観していただきました。ありがとうございました。一言で申し上げますと、アットホームな体育祭で盛り上がり、微笑ましい気持ちになりました。また、「家城地区クリーン作戦」は、本来地域の方々とともに学校周辺地域の清掃活動を行うものですが、今年は雨天のため、生徒と職員のみで実施するこ

とになりました。六〇名ほどの生徒と職員が参加し、小雨でしたので、独自に校内と家城駅までの通学路の清掃作業や家城駅前の花壇に植栽作業（写真）のお手伝いをしました。ボランティア活動から学ぶことも多くあり、貴重な経験となりました。

③課外活動について  
 各部活動も軌道に乗ってきているようです。五月の三重県総合体育大会では、陸上競技部、レスリング競技、ボクシング競技で上位に入ることができました。六月に静岡県で開催された東海高等学校総合体育大会にとどまらず、夏休み期間中に北海道で行われる全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に、東海地区代表として出場する生徒もいます。どんな目標であっても、自らの目標に向かって、主体的・意欲的に取り組む生徒の真剣な笑顔が、何より嬉しく感じます。

白山高校では、学校での様々な教育活動を通して、夢の実現のために長所を発見し、自信をつけ、長い人生を生き抜く力をも身につけて欲しいと思います。高校生には、無限の可能性があり、努力をすることで成長は無限です。今の自分に満足するのではなく、何事にも常に向上心を持って活動でき、また向上できる多感な時期です。結果も大切ですが、本気



になって取組めば、大きな自信となり、現代の多難な時代を生き抜く力となります。たとえ小さな一歩でも「継続は大きな力になる」と思ひます。エールを送ってあげて下さい。

最後に、本校の教職員も将来のある大事な子どもさんを預かっていることを心に留め、教職員一同が一体となって指導して参りたいと思ひます。今後とも保護者の皆様には、例えば「今日の学校生活はどうだった？」で結構ですので、ご家庭で学校の様子などの語らいを通して、お子さまを導いていただくとともに、本校の教育活動の充実・発展のために、より一層のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

# 各分掌より

## 教務部

### 「白山高校の教育」

教務主任 野田 真司

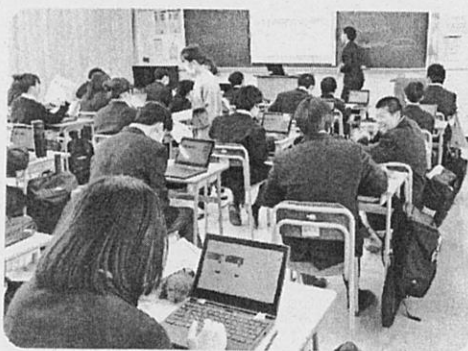
平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一、きちんと挨拶ができる。」「二、時間を守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三、相手の気持ちを考え、ルールを守り適切に行動することが出来る。」「三つの目標を掲げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。

日々の授業の時間を大切に、少

しても生徒にとってわかりやすい授業ができるよう、「ユニバーサルデザイン」の授業を行うことに力を入れています。また、一年生のほとんどの科目の授業で、クラス・学科を分割した授業、TT（チームティーチング）の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いた授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が安心して授業を受けられるように取り組んでいます。

また、総合的な探究の時間では、本校の教育目標である「地域を愛し、地域の活性化に貢献できる若者の育



授業風景①  
1年：総合的な探究の時間



授業風景②  
3年：生活支援技術

成」に沿って、各学年で様々な活動をしていきます。一年生では、昨年度から導入された一人一台端末の使い方を学習し、それを教科学習や調べ学習に活用することで、学習することの意義や「生きる力」について考えさせる授業を行っています。二年生では、「地域課題解決型学習」を主たるテーマに、「歴史、地域交流、はくさんば、会社地域、地域学校PR、グルメ」の六分野に分かれ、それぞれの分野の視点から地域の課題解決や活性化についての活動を行っています。三年生では、地域の事業所の皆さんにご協力をいただき、年間を通してのインターンシップを実施しています。また、面接指導、作文指導にも力を入れ、生徒の希望する進路が実現できるように取り組んでいます。

ます。

昨年度から、学習指導要領の改訂に伴って、新しい教育課程による授業が始まっています。授業の中身や求められる力が変わり続ける中、ICT機器を活用する授業など、生徒にとってより充実した授業を行えるように、今年度も様々な取組をしているところです。

このような学習活動を通して、生徒が成長することを願ひ、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。





生徒指導部

『日進月歩』

生徒指導部主任 仲 徹也

コロナウイルスの影響で様々な学習活動が制限されてきた昨年度までと比べ、少しずつではありますが通常の学習活動に戻りつつあると感じています。ご家庭におかれましても様々な面でご協力いただき、いつもありがとうございます。

さて、白山高校では、「あいさつ」「ルール」「美化」の三つのことを大切にしています。

「あいさつ」については、生徒指導部や生徒会が中心となって毎朝校門前や正面玄関前で挨拶運動を行っています。生徒会の生徒たちが、毎朝元気にあいさつ運動をしていくので、多くの生徒がそれに対し、あいさつを返してくれます。中には恥ずかしがって礼だけの生徒、または、声に出なくてニコッと笑ってくれる生徒もいます。やはり、あいさつは生活の基本ですから、今後もしっかりと継続していきたいと考えています。

「美化」については、月に数回、登校時にゴミ拾いを行っています。登下校のゴミは年々少なくなっており、生徒一人ひとりのモラルが向上してい

ると思います。今後も粘り強く啓発を行っていきます。

「ルール」については、生徒指導部では学校のルールについて生徒にたくさん言葉掛けをします。社会に出て頼られる人間になるために、ルールを守ることは大変重要なことだと思います。

日ごろから生徒にはよく言っていますが、人間は成長していく過程で必ず失敗をするものです。しかし、その失敗から成功へつながる何かをつかむことが大切で、それを学ぶのが学校なのだと思います。例えば安易に遅刻を繰り返してしまっても、遅刻指導のあと、全く遅刻をしなくなった生徒たちがいます。「おそらくその生徒たちは「遅刻はだめ」ということを感じてくれたのでしよう。白山高校にはそんな生徒がたくさんいます。失敗から得る教訓を大切に、日に日に絶え間なく成長、進歩してくれる生徒が今後も増えるよう、生徒指導部としては、時に厳しく、時に優しく生徒を見守っていききたいと思っています。



進路指導部

白山高校の進路指導

進路指導部主任 土方 正仁

本校では、各学年とも一学期に進路オリエンテーションを実施したうえで、各学年に応じて、大きく進路をとらえるところから具体的に方向性を決めていくところまで、生徒一人ひとりに現在と将来をしっかりと見詰めさせることができるような進路指導を順に進めています。

具体的には、一年生には二学期以降に地元企業との交流会や職業別体験授業(体験型ガイダンス)、二年生には、企業・学校見学会、さまざまな業界の方を招いて行うパネルディスカッション、全職員による面接指導、三年生には各種の全体指導、合同就職相談会への引率、面接指導、夏期セミナー、赴任指導などを行っています。時には近年卒業した先輩たちを招いてお話を聞いたり、様々な専門分野の外部の方からお話をうかがう機会を設けたり、進学情報を一度に複数得られるよう学校からバスを出して「進路フェスタ」に参加もしています。

自宅から通えるところでの進路実現を希望する生徒たちが、卒業後地

域を愛し、地域を活性化してくれるよう、地域のみなさんご助力も得ながらキャリア教育を充実させていきます。

この四月から就職したOBたちは各就業場所ががんばっています。七月時点での退職者は昨年と比較しても激減しております。これは就職試験への取り組みの意識、また内定を勝ち取った後も社会人になる意識をしつ



5月25日 3年生進路ガイダンス  
6月12日 面接指導より

かり持ち続けられた証だと思えます。三年生はいよいよ就職活動本番に突入していきます。就職関係の日程は今年も九月十六日選考開始となります。できるだけ希望に添えるよう、また個々の適性にあったところを紹介していく今年度も就職実現コーディネーターやハローワークのジョブサポーターのご協力も得ながら進めてまいります。

四月以降、三年生は、欠席を少なくし、学校の勉強にもさらに熱心に取り組んでいる様子が見られます。五月には、どこにでも通用する証明写真の撮影を行い、進路ガイダンスなど企業や大学専門学校の方の話を直接聞く場を設けるとともに、一般常識をテストし、「進路のてびき」を活用したガイダンスを行い、面接指導にも取り組んでおります。そこからは、それぞれが自分の進路希望の実現に向けて、前向きに取り組もうとする意欲が感じられます。

その先輩たちの姿を見て下級生たちも徐々に社会人になれる態度が身についていくようです。

最後まで手を抜かず、一人ひとりの希望実現にむけて精一杯支援してまいります。今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

保健部

保健部より

五月から新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行し、感染対策に関しても緩和されました。学校でもようやくコロナ前に近い活動ができるようになりました。お子様のご入学以来、登校前の検温、マスク着用等の学校における感染対策にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今後もお子様の安全な学校生活のため、適切な換気や手洗い等の手指衛生とといった基本的な対策は継続して取り組み、ご家庭とも連携してお子様

の健康状態の把握に努めてまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

本校の保健室では、健康診断、健康相談、応急処置を行っております。その他の活動としまして、性に関する指導、命を大切にする教育なども実施しております。また本校はスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拠点校となっております。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの面談は、保護者の方もご利用になれます。お子様の気になる様子や心の悩み、また保護者の方ご自身の子育ての悩み

図書館

図書館より

(概要)

- 蔵書数：約一六、〇〇〇冊
- 新聞：三誌
- 雑誌：十誌
- 検索・学習用パソコン：三台
- 座席数：三十六席
- 貸出冊数：十冊まで
- 貸出期間：二週間

白山高校図書館は二棟三階に位置し、クラスの教室と近いため、授業



の間の休憩時間にも生徒が気軽に来館します。読書や勉強、電車待ち、くつろぎの場所として利用されています。

学校図書館は、読書相談や生徒が本に親しむように取り組んでいます。六月に「梅雨の読書キャンペーン」、七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に「図書委員のおすすめ本」の展示など行います。また、調べ学習などで、授業でも利用されています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方もご利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しておりますので、また、ご活用ください。



生徒会

生徒会より

本年度も、生徒会の最初の活動として、四月に新入生を迎え恒例の対面式を実施することができました。

また、部活動紹介を経てそれぞれの生徒たちは希望する部に入部し、放課後や週末には練習に一生懸命取り組んでいます。五月から新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられ、少しずつ活動の幅を広げることが可能になってきました。活動に制約を受け、思う存分にできなかった時期を乗り越えて、県大会や東海大会に出場するクラブの選手たちを全校生で応援する壮行会を開催できるのは嬉しいことです。

さて、生徒たちにとって大きな学校行事と言えば、体育祭と文化祭です。今年は雨で翌週に順延となりましたが、六月五日に体育祭を開催し、保護者の方にも観覧していただきました。クラス旗を作ったり、お揃いのクラスTシャツを着たりして競技や応援に盛り上がりました。今年度は、生徒会役員の企画により、新種目として「台風の日」と「お菓子食い競走」の二種目を追加し、実施しました。クラスみんなで団結して取



り組む綱引き、大縄跳び、クラス対抗リレー、また、クラブ対抗リレーなど、高校生活の楽しい思い出になったのではないかと思います。また、文化祭に関しては、現時点では十一月に開催する予定です。昨年度は、模擬店の実施を行い、とても盛り上がる文化祭となりましたが、今年度もより一層、生徒みんなが楽しんで安全に実施できる企画内容を、今後、生徒会役員とともに考えていきたいと思っています。

また、今年は生徒会活動の一環として、六月十一日に「家城地区くみ組む綱引き、大縄跳び、クラス対抗リレー、また、クラブ対抗リレーなど、高校生活の楽しい思い出になったのではないかと思います。また、文化祭に関しては、現時点では、十一月に開催する予定です。昨年度は、模擬店の実施を行い、とても盛り上がる文化祭となりましたが、今年度もより一層、生徒みんなが楽しんで安全に実施できる企画内容を、今後、生徒会役員とともに考えていきたいと思っています。

また生徒会では、毎月の学校目標を設定しており、四月は挨拶に関する目標を設定しました。役員と生徒会顧問で毎朝行う挨拶運動では、朝、校門で大きな声で挨拶をすると、ほとんどの生徒が元気に挨拶をしてくれるようになりました。これからも地域社会に支えていただけるように、生徒一人一人の意識向上に取り組みたいと思っています。



部活動の紹介

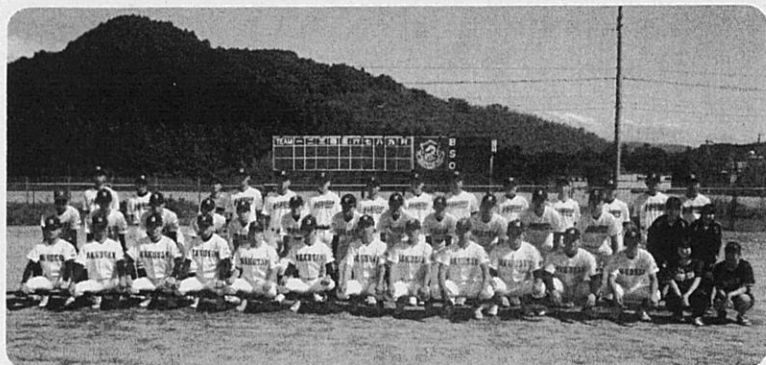


硬式野球部

私達白山高校野球部は、現在三年九名、二年一三名、一年一六名、マネージャー四名の計四二名で日々の練習に励んでいます。

新チームとして臨んだ秋季三重県大会では、二回戦で強豪いなべ総合学園との対戦に苦しみながらも勝利しました。自分たちの力に自信を持つことができきつかけとなりました。しかし、次戦の木本高校との対戦では思うようにプレーできずに敗れてしまいました。悔しい気持ちを胸に、自分たちの練習姿勢や意識をこれまで以上に改善し、個人のレベルアップ、チーム力向上を目指し、日々練習に励んできました。

そして迎えた春季大会。中地区予選をなんとか突破することができ、県大会での勝利を目標にかかげ、試合に臨みました。二回戦で海星高校に敗れたものの、手応えと悔しさを強く感じる大会になりました。



習に励んでいます。練習が出来ることの喜びや仲間と白球を追う時間の尊さをかみしめながら、応援して下さっている方々への恩返しとして、今自分たちに出来ることを精一杯打ち込み、応援してくれる全ての方に感動を与えられる試合が出来るよう

頑張っています。

保護者やOBの方々、そして地域の皆様には、日頃から白山高校野球部の活動にご理解ご協力を賜り、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。部員達には、高校野球に携わる者として、野球を通して、人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力を一つにして一戦必勝で勝ち進み、甲子園出場を果たせるよう頑張ります。今後とも、応援よろしくお願いたします。

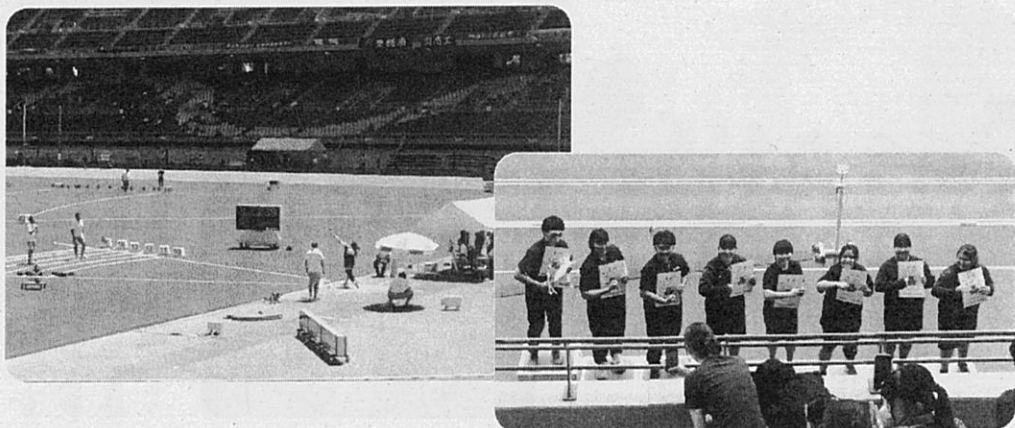
陸上競技部

本年度陸上競技部は、男子七名、女子二名の計九名で活動をスタートしました。

トラック種目は短距離・フィールド競技は投擲という種目に絞り、今年も全員自己新・東海大会出場・全国大会出場を目標に日々の練習を重ねています。

さて今年度は、昨年度までと違い春先から競技会が通常通り開催されており、とても有り難いことだと感じております。

陸上競技をするのは、目標を達成



して自分が喜ぶと同時に、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的」という白山高校陸上競技部の活動方針のもと、今シーズンも頑張っていこうと思います。四月の国体一次予選では、二年生の



宮田が少年男子円盤投に出場し、それまでの自己記録を大きく上回る三回八八の自己新記録で七位に入賞しました。目標の全国大会の参加標準記録まで、いよいよあと五mと近づいてきました。

また、五月の県総体では三年生の晴山が女子砲丸投で六位入賞を果たし、白山高校陸上競技部として通算十一度目の東海大会出場が決まりました。六月の東海総体では十一位という結果でしたが、ケガをしながらもしっかりと声を出してシーズンベストをマークすることができ、三年生としてまたキャプテンとして集大成となる大会になりました。

シーズン前半が終わり、冬期練習からの目標を達成できた者や、達成までもう少しというところで悔しさを感じた者もあり、それぞれが次の大会や秋のシーズンに向けてモチベーションを高めるきっかけになったと思います。

- 今後の大会予定
- 三重県陸上競技選手権大会（伊勢）  
七月八日（土）～九日（日）
  - 東海陸上競技選手権大会（静岡）  
八月二十六日（土）～二十七日（日）
  - 三重県高校新人大会（四日市）  
九月二十三日（土）～二十四日（日）

U18陸上競技大会（愛媛・松山）  
十月二十日（金）～二十二日（日）  
東海高校新人大会（三重・伊勢）  
十月二十八日（土）～二十九日（日）

シーズン後半も、結果より競技そのものを楽しむことを大事にしてほしいと思います。白山高校での陸上競技をやり切りましょう！

### バスケットボール部

男子バスケットボール部は現在三年生二名、二年生三名、一年生三名の計八名で日々の練習に励んでいます。今年度行われた県総体地区予選においては、惜しくも一回戦敗退となり、県大会への出場ができませんでした。他のチームに比べると人数も少なく、試合前のケガなどでイレギュラーな状況が起こる中で、生徒たちは「さっきのはこうした方がいい」「今のは、こうして欲しかった。」「次は、これを意識しよう。」と、自分たちで話し合い、チーム一丸となって今大会を駆け抜けることができました。他校の先生方に、「個人のスキルがとても上がったね。」とお褒めの言葉をいただくこともできました。これは、日頃から生



徒たちが、自分自身とチームに目を向け、目標に向かって日々、練習に取り組んでいるからだと思います。また、三年生は最上級生として、下級生を引っ張っていくという強い責任感があつてこそそのスキル向上だったのでは無いかと感じました。結果だけを見れば悔しい結果ですが、生徒たちが今回の大会で身につけた【コミュニケーション能力】や、【困った時は協力して乗り越える】という力は、今後の生徒たちの武器になると思います。

九月からは三年生最後の大会となる選手権予選が始まります。目標である県大会出場を目指し、現在は県総体での悔しさや、他校の先生方の応援を胸に、日々練習に取り組んでおります。練習では、特に「小さな積み重ねが大きな結果なる」ということを日々生徒たちへ伝えていきます。九月ま

### 卓球部

卓球部は、今年度五名（三年生一名、二年生四名）で活動しております。放課後の練習に加え、長期休業中には他校との合同練習などに参加し、地道に練習しています。今年度より、個人の部とダブルスにおいて地区編成が変更となり、本校は松阪・南勢地区から中勢地区に配置替えとなりました。強豪揃いの中勢地区ですが、個人一名、ダブルス一組が予選を勝ち抜いて、県

で長いようで短い期間の中で、自分たちにできる最大限の力で練習に取り組もうと生徒たちは毎日の練習に励んでおります。

保護者の皆様には、日頃からバスケットボール部の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝いたしております。また、OB、先生方の応援や支援があつてこそ現在の現存であると肌で感じており、部員、顧問一同深く感謝しております。

県大会出場という目標を掲げ日々の練習に励み、様々な方から応援されるようなチームを目指して行きたいと思っておりますので、引き続き応援、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

総体出場を果たしました。また、五月二十七日の県総体団体戦にも男子チームが出場しました。新型コロナウイルスの感染症法上の分類が五類に移行したことに伴い、この団体戦は、四年ぶりにコロナ前の形式で実施されました。活気の戻った会場で試合ができたことは生徒たちの大きな励みとなりました。

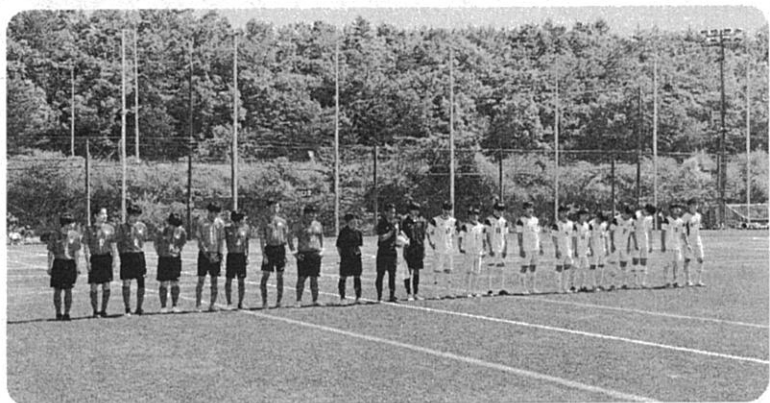
「高校生として基本的な生活習慣をおろそかにせず、しっかりと授業に参加し、学力を身につけること」や「挨拶や言葉遣いなどをしっかりする」といったことも、卓球部の活動目標としています。技術面、精神面の両方を鍛え、今後も卓球をとおして、仲間や様々な人となりが、愛され応援されるようなチームを目指して活動してい



きたいと思えます。ご支援のほどよろしくお願いたします。

### サッカー部

今年度のサッカー部は、三年生三人、二年生一人、一年生五人の計一〇人で活動しています。恵まれた環境とは言えませんが、生徒たち皆グラウンドで活き活きと活動してい



### 弓道部

ます。今年度スローガンに「本気」を掲げ、少しずつではありますがサッカーに取り組み姿勢や、学校生活など彼らなりに前を向いて進んでいるなど感じる日々です。公式戦でひとつでも多く勝つために日々頑張っておりますので、応援よろしくお願いたします。

弓道部は、三年生五名、二年生二名、一年生六名の計十三名で活動しています。各種弓道大会への出場と、段位の取得を目指して日々練習しています。三重県内の中学校のうち、弓道部のある学校は一校だけです。そのため、部員はほぼ全員が初心者です。外部指導者の先生や上級生からの指導のほか、部員どうしがお互いの射について助言し合うことなどを通じた技術の向上を目標としています。種目の特性として、弓を引く瞬間は自己と向き合うこととなります。その一方で、団体戦においては他者と協力することも求められ、選手、応援の生徒を含めた部員全員で作りに上げた雰囲気、試合の結果に大きく影響します。五月末に実施された三重県高校総体では、

女子団体は予選通過の中にあと一本届きませんでした。女子二名が個人予選を突破して決勝へ進むことができました。これまでの本番では、緊張のあまりに練習通りの的中を出せずに悔しい思いをしてきました。今回は、緊張しながらも自分に何ができるかをしっかりと考えて着実に実行していく姿が見られ、成長の様子が表れていました。また、応援していた生徒も、「次は自分も」という気持ちを持って頑張りました。これからも正射必中を目指して全力で取り組むことで、主体的行動や他者貢献できる力を培っていきたいと考えています。

最後になりましたが、弓道部の活動につきまして、日頃よりご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。





### テニス部

テニス部は今春七名の新入部員を迎え入れ、計一四名で活動をしています。例年軟式テニスの経験者が入



部することが多いですが、今年度の新入部員のほとんどはテニス初心者です。入部して二ヶ月近くが経ち、徐々に打てるようになってきたので、試合形式の練習も取り入れていきます。今後はテニスコートの整備にも力を入れ、思う存分練習ができるようにしていく予定です。そして、夏には大会出場を目指して練習に励んでいきます。みなさまの応援をよろしくお願いたします。

### 吹奏楽部

吹奏楽部は、現在三年生三名、一年生三名の計六名で、今年度は月曜日から金曜日まで活動しています。毎年のように部の存続自体が危ぶまれている状況ですが、新たに新入生三名が門を叩いてくれ、どうにか部としての活動を続けていきます。

とはいえ三名はいずれも吹奏楽未経験者で、秋の三年生引退後はどうなることかと心配していますが、新入生の実質的なデビューは七月の高校野球夏大会の応援となりますので、当座は応援曲の反復練習に日々コツコツと励んでいます。弱小部ではありますが、それゆえ

ゆるくアットホームな人間関係の中で活動できるのが利点でもあります。ゆったりとした時間が流れる放課後の音楽室で、今日も各人がのんびりと自分のペースで技術を高めています。



部紹介 (4月)



体育祭 (6月)

### 美術部

美術部は、現在三年生が七名、二年生が六名の計十三名で月曜日・木曜日の週二回全体で活動しています。その他の曜日は、個人での活動です。【学校に少しでも貢献できる部活動にしよう】をテーマに、絵に限らずいろいろなことに取り組みたいと考えています。今年度も、クロームブックやペンタブレット等も活用し、学校図書館が発行する「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の挿絵に取り組みました。

また、いじめ防止強化運動で活用するため、「ピンクしかずきんバツジ」も作成し、配布しました。部活動中は、穏やかな空気の中で生徒それぞれが活動しています。無心になって取り組む時間は、多感な年頃の生徒達にとって心のバランスを取る意味でも有意義であることを実感しています。

二学期以降は、薬物防止ポスター、交通安全ポスターにも積極的に参加する予定です。十一月には活動の集大成である文化祭があります。自分のペースで好きな作品を作り、さらに活動の幅を広げて意欲的に取り組んでいきたいと思っています。絵を描くのが

大好きな生徒ばかりです。上手い、下手は関係なく、絵を描くのが好きな人は是非一度遊びに来てください。

### 書道部

書道部員は、一年生が一名、二年生が一名の二名です。月曜と木曜の放課後に書道室で練習に励んでいます。とても熱心に活動してくれているので、二人とも確実に上達しています。

今年度は、近畿高等学校総合文化祭が三重県で開催されます。他府県の生徒さんとの交流を楽しみに、県内の書道部門のみなさんと、歓迎の準備をしています。

今後の大きな行事は、「みえ高文祭」「生徒・教員展」での出品・展示があります。

校内の文化祭でも「書作展」を実施し、作品を展示する予定です。多くの方に見ていただければ、幸いです。

### 家庭部

家庭部は、現在三年生三名、二年生一名の計四名で活動しています。昨年度まではお菓子作り等の調理を行っていましたが、今年は各地で夏祭り等も開催されると言うことで、浴衣や甚平の製作にチャレンジすることにしました。



### 商業部

商業部は、平日の放課後に週三回の活動を実施しています。活動内容は、ビジネス文書検定や情報処理検定などの一級合格を目指して自主的に勉強しています。また、昨年度は津市商工会議所青年部の方に、お声がけをいただき商品開発を行い、クラフトコーラの「白山コーラ白山高校バージョン」と青山高校バージョンの二種類を商品化することができました。

本年度に入ると、近鉄百貨店四日市支店で販売促進のための試飲を行います。昨年度の経験を活かし多くのお客様に試飲をしていただき、販売促進に大いに貢献することができました。今年度の三年生は、顧問が着任した時の一年生でしたので、三年間の様々な販売実習の経験が、生徒を大きく成長させてくれたと実感しました。徐々にコロナの規制緩和が行われ、様々なイ





ペントが再開されるようになり、制約がある中でも、与えられたルールの中で、知恵を絞って、魅力ある実り多い企画を考えることで生徒達の成長を見て取れます。今後も、各種ペントで白山高校商業部がお邪魔することも多いと思います。その際には、どうぞ応援よろしくお願ひします。



近鉄百貨店四日市店

### 茶道部

本校茶道部は例年、地域のイベントにも参加をさせていただいておりましたが、感染症対策の観点からイベントが中止になり、校内での活動のみを行う日々が続いております。



しかし、昨年度の文化祭から、少しずつ地域の方とも触れあえる機会ができました。茶道の活動を通じ、地域の方々とのふれあうことは、一人ひとりが成長できる、とてもよい機会です。今後、部活動を通して貴重な経験ができる日が更に増えるように、部員、顧問とも願って日々のお稽古にはげんでおります。今後とも、よろしくお願ひいたします。

### 人権サークル

本年度は、一年生一名、二年生一名の二名の人権サークルのメンバーとして活動しています。

現在の活動状況は、毎月一回程度、金曜日の放課後に、中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）に参加しています。

二名は、クラブ活動と掛け持ちの参加ですが、人権に関する活動の輪が広がるよう、校内の参加も呼びかけていきたいと考えています。

先日、六月九日（金）の人権活動交流会に白山高校からは人権サークルの二名が参加しました。

写真は、津高校で行われた新入生歓迎会の様子です。当日は、リモー

トも含めて一四名が各校から参加しています。当日は（さいころトーク・ワードウルフ）からスタートし、後半は、人権に関する話題で、気になっている人権問題など、自分の気持ちを発表し、交流の輪を深めました。次回の中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）は、七月十四日（金）に津高等学校での開催予定です。

校内でも自分が考えている人権のことを交流しましょう



